

中東と武道

グローバル化する



参加費
無料

2021. 3/19 [Fri]

18:30~20:45(17:30開場) WEB 参加も可能です(要事前申込み)

場 所 オーバルホール 定 員 180名(要事前申込み/先着順)
大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞社ビル B1

講演 1 「カラテから考えるエジプトのスポーツと社会」
相島 葉月 (国立民族学博物館)

講演 2 「岡本秀樹による中東での空手の普及 —— 日本人の視点より」
小倉 孝保 (毎日新聞社)

コメント アレキサンダー・ベネット (関西大学)

総合司会 河合 洋尚 (国立民族学博物館)

※手話通訳あり

※本講演会は会場内での聴講のほか、WEB ライブ中継(要事前申込み)でも参加いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、十分な距離を取ってお座りいただけます。

また、流行状況によっては、開催の中止、形式の変更等となる場合もあります。ご了承ください。

主催



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

毎日新聞社



若き日の岡本秀樹（右）とその教え子（左）

今年夏に開催予定の東京オリンピックでは、二つの武道が公式種目となりました。柔道と空手道です。本講演会は空手を中心とした武道の中東地域への広がりから、スポーツ文化のグローバル化について探求します。

武道は、もはや日本だけにとどまることなく、そのあり方を変えながら、世界中で親しまれています。一方で、武道が中東地域で人気を集めていることは、日本では意外と知られていません。特に空手は、イスラエル、トルコ、イランなどで広く普及しており、エジプトでは国民的なスポーツになって久しいです。一般的に空手は、日本の伝統文化として世界的に知られています。しかし多くのエジプト人空手家は、空手が日本発祥の格闘技であることを深く意識せず、グローバルな世界とつながる手段として稽古に取り組んでいます。

では、誰が、どのような経緯で、中東に武道を広めていったのでしょうか。中東にはどのような社会的、文化的価値があり、武道が受け入れられていくことになったのでしょうか。また、武道の何が中東の人々のハートをつかんだのでしょうか。武道のグローバルスポーツとしての展開について、中東の事例から考えます。

プログラム

- 17:30 開場
- 18:30-18:35 開会 島田 智（毎日新聞社大阪本社・編集局長）
- 18:35-18:40 挨拶 吉田 憲司（国立民族学博物館・館長）
- 18:40-19:10 講演1 相島 葉月（国立民族学博物館・准教授）

「カラテから考える
エジプトのスポーツと社会」

- 19:10-19:40 講演2 小倉 孝保（毎日新聞社・論説委員）

「岡本秀樹による中東での
空手の普及—日本人の視点より—」

- 19:40-20:00 休憩

- 20:00-20:45 パネルディスカッション
司会進行：河合 洋尚【趣旨説明】
コメント：アレキサンダー・ベネット（関西大学・教授）
パネリスト：
相島 葉月 × 小倉 孝保 × アレキサンダー・ベネット
20:45 終了

総合司会：河合 洋尚（国立民族学博物館・准教授）

プロフィール



相島 葉月（国立民族学博物館・准教授）

専門は社会人類学、中東研究、現代イスラーム思想。エジプトにて都市中流層の教養や身体文化に関する民族誌的調査を行う。主な著書に『Public Culture and Islam in Modern Egypt: Media, Intellectuals and Society』(2016, IB Tauris)、『イスラーム復興—西洋モデルに依存しないイスラームの近代の試み』、『大学生・社会人のためのイスラーム講座』(2018年、ナカニシヤ出版)。



小倉 孝保（毎日新聞社・論説委員）

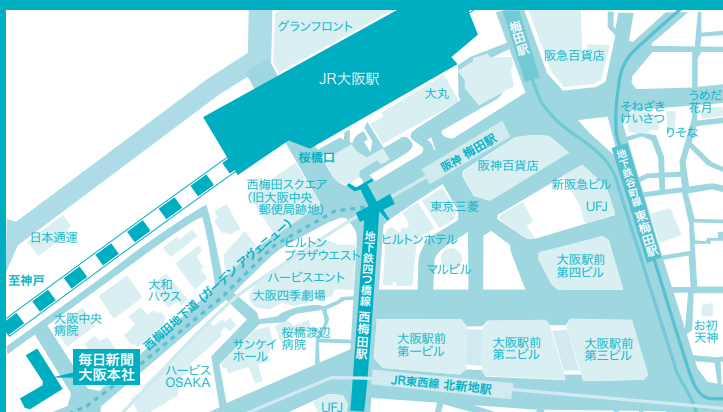
1964年滋賀県生まれ。1988年毎日新聞社入社、カイロ、ニューヨーク両支局長、欧州総局（ロンドン）長、外信部長などを経て現職。2014年に英外国特派員協会賞受賞。『柔の恩人—「女子柔道の母」ラスティ・カノコが夢見た世界』で小学館ノンフィクション大賞、ミズノスポーツライター最優秀賞を受賞。近著に『ロレンスになれなかった男—空手でアラブを制した岡本秀樹の生涯』(2020年、KADOKAWA)。



アレキサンダー・ベネット（関西大学・教授）

専門は日本思想史、日本文化論、武道研究。ニュージーランド出身。剣道教士七段、なぎなた五段、居合道五段、銃剣道練士六段、短剣道練士六段を取得。主な著書に『武士のエロスとその歩み—武士道の思想史的考察』(2009年、思文閣出版)、『Budo: The Martial Ways of Japan』(2010, Nippon Budokan)、『日本人の知らない武士道』(2013年、文春新書)、『Kendo: Culture of the Sword』(2015, Univ. of California Press)。

講演会場



- ・JR大阪駅（桜橋口）から地下道にて徒歩約8分
- ・阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分

◆申込方法

国立民族学博物館 クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<https://www.minpaku.ac.jp/>

令和3年2月12日(金)受付開始予定

※参加申込みされた方の個人情報は本講演会でのみ使用いたします。



◆お問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課

TEL 06-6878-8209

E-mail: koenkai@minpaku.ac.jp